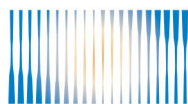
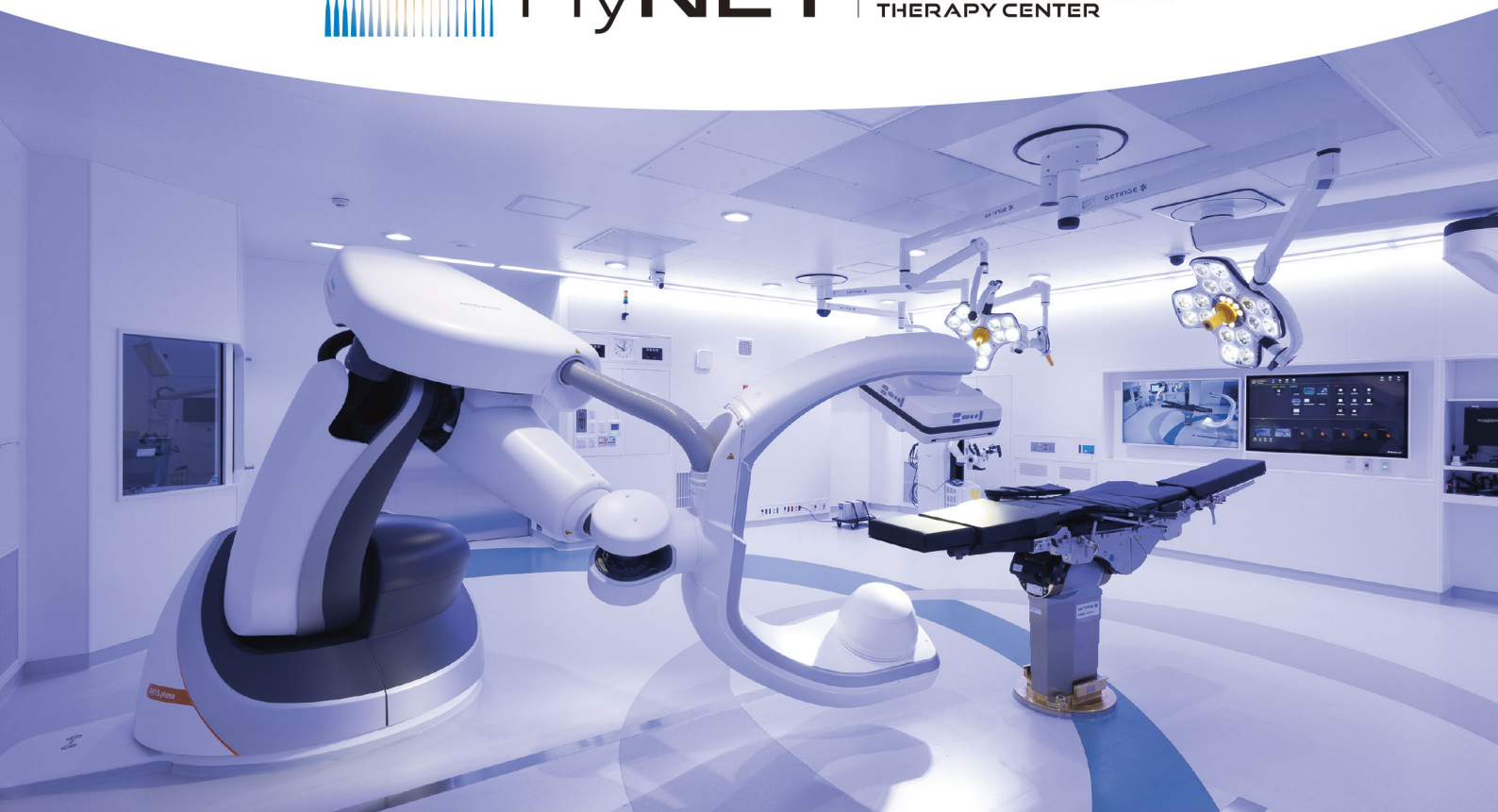


脳血管内治療センター のご案内



HyNET

HAKUYOKAI
NEUROENDOVASCULAR
THERAPY CENTER



ごあいさつ

脳血管内治療と脳外科手術の ベストバランスを目指して

脳血管内治療は近年、治療の有効性や安全性も飛躍的に向上し、国民が求める低侵襲医療の代表の一つに成長しつつあります。血管内治療は一般的に低侵襲といわれますが、安易に治療し術後に再発を繰り返すようでは決して良い治療法とはいえません。当院の強みは脳血管内治療と外科手術の“いいとこどり”ができ、患者さんにとってハイレベルで最適な治療法の選択肢が提供できることだと考えています。

当センターは脳血管内治療が脳卒中医療の重要な治療モダリティとして、また脳神経外科手術の治療オプションの柱として、さらに認知度を高めこの治療の恩恵を一人でも多くの患者さんが享受できるように努めていくことを目指しています。



脳血管内治療センター センター長
菊地 統



センターの特長

脳血管内治療センターでは4人の脳血管内治療専門医が常勤しており、急性期脳梗塞に対する脳血栓回収療法が24時間体制で実施できる一次脳卒中センター（PSC）コア施設にも認定をうけており当院では従来の直達手術はもちろんのこと、カテーテルを用いた脳血管内治療にも力を入れております。

当センターは脳血栓回収療法の他、脳動脈瘤に対するコイル塞栓術やフローダイバータースtent治療、頸動脈狭窄症に対するstent治療、脳動静脈奇形や硬膜動静脈瘻、あるいは脳腫瘍に対して液体塞栓物質などを用いた塞栓術など高度な技術を要する脳血管内治療を多数行っております。

設備について

当センターではシーメンスヘルスケア株式会社のARTIS icono D-Spin（アーティス・アイcono・ディースピン）という世界最高水準の血管撮影装置が導入されました。この最新機種の特長は画質の向上と治療時間の短縮、そして被ばくの低減という3点にあります。脳血管内治療は迅速性が求められたり、より精度の高い診断が求められたりと対象疾患によって血管撮影装置に要求されるニーズは様々です。基本性能、操作性、画質、スピード、汎用性などあらゆる点で従来品より各段に向上している装置を導入し、より安全でより高度な治療を提供してまいります。またハイブリッド手術室には同社のARTIS pheno EX（アーティスフィノ EX）が導入されました。単独では治療困難と思われる疾患に対しても患者さんを移動することなく開頭術と脳血管内治療を同時に行うことができるようになり、より質の高い医療の提供を行ってまいります。



ARTIS icono D-Spin
（アーティス・アイcono・ディースピン）



ARTIS pheno EX
（アーティスフィノ EX）

対象となる疾患

- 脳動脈瘤
- 急性期脳梗塞（脳主幹動脈閉塞症）
- 内頸動脈狭窄症
- 脳硬膜動静脈瘻
- 脳動静脈奇形
- 脳腫瘍

診察日

月曜日午前 予約制



お問い合わせ先

社会医療法人柏葉会 札幌柏葉会病院 患者支援センター

TEL.011-598-1777 FAX.011-598-1208

【受付時間】 平日 / 9:00～17:00 ※土・日・祝・年末年始(12月30日～1月3日)除く